開校 36 周年　～Road to 40Years～

三小だより

令和７年９月１日　発行
＜９月号＞
江戸川区立南葛西第三小学校
校長　佐久間　貴広

つなぐ力

夏休みが終わりました。猛暑に津波にと、自然の力を思い知らされるニュースが少なくありませんでしたが、そのなかでも、それぞれに楽しい時間を過ごされたことと思います。お子様の夏休みの様々な経験が、これからの学びに生かされることを期待したいです。「経験」という言葉は、「体験」との使い分けに悩むことがありますが、経験は行動を通して知識や技能を身に付けること、体験は行動そのものを意味するようです。体験を通して何かしらの学びを得た場合に「経験」となるということでしょうか。「経験知」という言葉はありますが、体験知というのは聞きません。

そのときはよく分からない、または、分かったとしても、のちの体験によって「そういうことか」と合点がいったり、感動したりすることがあります。この夏、旅先でそんな経験をしました。

宿泊した先のスタッフに観光スポットを尋ねると、「化石園」がすぐ近くにあるとのこと。行ってみると、教科書などでよく見る「地層」が目の前に広がります。見事にきれいな層になっています。

施設では化石掘り体験ができ、切り出した原石を渡されました。先ほど見たようなきれいな層になっている石を、ドライバーの先を石の層に合わせてあててハンマーで優しくたたいていきます。すると、層に沿ってきれいに石が薄くはがれるのです。地層の写真は何度も見たことがありますし、違う種類の土などが積み重なることで層になることは知っていますが、改めてきれいにそれぞれの層ではがれて薄くなっていく石に、「なるほど」「へぇ～」「本当にこうなるんだ」などと、様々な感動があり、素晴らしい経験になりました。

３㎝ほどの厚さの石がどんどん薄くなり、中から木の葉の化石が出ることも

学校での学習は、教科書を通した学びが基本となります。そこで、なるべく体験的な学習場面を作って、確かな学びにつなげたいと考えています。また、夏休みなどの機会は、様々な体験によって学校での学びをより確かなものにするための時間となります。体験を通した理解や獲得した知識は生きた力になります。学校での学びが他の場面で生かされたり、外での体験が学校での学びと結び付いたりすることが大切です。この結び付ける力、つなぐ力こそが真の学力であると言われることもあります。知識と知識を結び付けて体系化したり、新たな知を想像したりする力が求められているのです。

78 日間という、１年間の中で最も長い２学期が始まります。充実し、成長の４カ月間となるよう、様々な学習や活動・経験をつないだり、活用したりすることを意識して、教育活動を進めてまいります。

エアコンが新しくなりました！

個人面談期間中はご迷惑をおかけしましたが、夏休み中の改修工事により、各クラスのエアコンが新しくなりました（体育館と一部特別教室は除く）。本校は、オープンスペースのためエアコンの効率がどうしても下がりますが、新しくなったエアコンで、まだまだ続く熱い残暑を乗り切っていきたいと思います。

～研究推進委員会から～

研究推進委員会　佐藤　英美

今年度は学級活動、特に学級会を中心に研究を進めて２年目になります。学級会では、子供たちが自ら学級や学校における生活上の課題に気付き、解決するために話し合い、合意形成し、協力して実践することを通して、自治的能力を育てていきます。

学級会を「もっともっとよいクラスになるために、『みんな』でやりたいことを『みんな』で話し合って、『みんな』で決めて、『みんな』で一緒にやる時間」とし、自発的に意見を出し合ったり、折り合いを付けて意見をまとめたり、新たな意見を生み出したりと、活発的に取り組む様子が見られるようになってきました。昨年度の経験を生かしながら、「成すことによって学ぶ」をモットーに日々取り組んでいます。また、学級会の時間だけでなく、各教科や学級経営で行っている工夫が、特別活動にどのように影響を与えるかも研究していきます。

学級会を通して、よりよい学級、よりよい学校を子供たち自らが意識し、作り上げ、誰もが居心地のよい南葛西第三小学校を目指していきたいと思います。

〈６年生の様子〉

～特別支援教室紹介～

特別支援教室主任　中島　麻衣

◇特別支援教室は、学校生活が充実し、社会生活が円滑に行えるように、一人一人のめあてに応じて指導・支援をする教室です。人と円滑な関係を築いていくためのソーシャルスキルや、個々に合った学習の仕方などを、１対１の個別指導や小集団指導で学習しています。

◇特別支援教室での一人一人に合った様々な学習を通して、得意なことを増やしていくことで、児童が自分のよさを再発見し、心地よく日々の生活を送っていくことができるようになることを目指しています。

◇詳細は、ホームページ内の「特別支援教室ゆりのき」を御覧ください。

＜個別指導を行う教室の様子＞

《このような心配があれば御相談ください》

◎集団生活や友達との関わりに苦手意識をもっている

◎気持ちの切り替えが難しい　◎初めてのことに強い不安を感じる

◎前向きに学習に取り組むことができない　◎授業に集中できない　など

＜特別支援教室　直通：０３－３８７８－２６７１＞

～ことばの教室（通級指導教室）紹介～

ことばの教室　田川　恵子

◇ことばの教室（通級指導教室）は、

①発音の誤り【さかな→しゃかな、からす→たらす等、違う音になる】

②吃音【おおおはよう、おーーはよう・・っおはよう等、言葉がなめらかに出ない】

③言語発達の遅れ【平仮名が覚えられない、語彙が少なく言いたいことが伝わらないなど】

以上の３つの主訴に応じて、一対一の個別指導で学習しています。

◇児童の特性や学び方を、様々な検査や行動観察から見立て、個に応じた指導をしています。

◇詳細は、ホームページ内の「ことばの教室」を御覧ください。

＜下の動きを確かめるためにアクリル板を挟んで指導を行うこともあります＞

《このような心配があれば御相談ください》

◎発音に誤りがあり、何を言っているか聞き取りにくい。

◎話し始めを繰り返したり、引き伸ばしたり、言葉が出にくかったりする。

◎語彙が少ない、片仮名や漢字、拗音（ゃゅょ）や促音（っ）の読み書きができない。

＜ことばの教室　直通：０３－３６８９－４１２１＞